

章	5	身近な環境に配慮した、地球にやさしいまち
大項目	01	環境への負荷の少ない社会システムの構築
施策	03	環境保全思想の普及と啓発

目的

環境学習情報センターを活用して適切な情報提供、環境に関連するイベントなどを行い、環境問題への関心・理解を深め、環境に配慮した生活や行動ができるように普及・啓発を図ります。

対象・手段

環境学習情報センターを核として、区民・企業・NPO・学校との連携と協働を進め、環境に関する意識を向上させ、具体的に環境改善を実践できるよう、啓発パンフレット等の作成と配布、出前環境学習の実施、ホームページへの掲載、区民・企業・NPO・学校への環境保全活動の支援を行います。

施策の方向

環境学習情報センターを核とした、各種イベントの開催、事業者との連絡会を通じて、普及・啓発、支援をより一層効果的に進め、区民、事業者、NPOが環境保全活動を実践しやすい条件を整えていきます。

基本計画(平成10～19年度)の目標達成状況

指標名	A 基準値	B 目標値	C 達成値	D 達成状況
区民の環境配慮行動の割合(%)	(平成12年度) 84%	(平成19年度) ↗	(平成19年度) 91%	平成18年度第3回区政モニターアンケートでは7%上昇しました。
環境学習情報センター利用団体数(団体)	(平成12年度) -	(平成19年度) 200団体	(平成19年度) 60団体	登録団体数が60団体でした。

指標名の定義： 日頃から省資源、省エネルギーなど地球環境に配慮した生活や行動を心がける人の割合
(12年度は区民意識調査による集計結果)
環境学習情報センター利用団体数(継続的に環境保全活動を行う団体)

成果指標

指標名	定義	目標水準
「エコリーダー養成講座」の参加者数	地域の環境活動リーダーを養成することを目的とした連続講座の参加者数です。	(平成19年度) 年度に (300人) の水準達成
「まちの先生見本市」の参加者数	学校の環境学習・環境活動推進のため、各関係者が連携して実施する「まちの先生見本市」(1回)の参加者数です。	(平成19年度) 年度に (500人) の水準達成
環境学習情報センター来館者数	環境学習情報センターへの通算来館者数(イベント参加者数を含む)	(平成19年度) 年度に (10万人) の水準達成

施策の達成状況

		単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備考
施策成果指標	目標値1	人	300.00	300.00	300.00	
	実績1	人	340.00	150.00	474.00	
	目標達成率1 = /	%	113.33	50.00	158.00	
	目標値2	人	500.00	500.00	500.00	
	実績2	人	2,000.00	700.00	1,479.00	
	目標達成率2 = /	%	400.00	140.00	295.80	
	目標値3	人	100,000.00	100,000.00	100,000.00	
	実績3	人	30,095.00	44,629.00	57,935.00	
	目標達成率3 = /	%	30.10	44.63	57.94	

主な取組み

環境学習情報センターの管理運営
 小・中学校での環境学習
 エコリーダーの養成
 夏休み親子体験教室「神田川たんけん隊」
 環境保全活動を地域に広げていくことを目的としたエコライフ推進員の活動、エコ事業者連絡会の開催

課題

環境学習情報センターの機能を最大限に活用して着実に環境学習を推進しています。特にホームページリニューアル後の利用人数が大幅に増加しました。更なる広報活動に力を入れて、利用者の開催事業への参加数の継続的な増加が求められます。

評価

総合評価	
<p>総合評価をBとした理由は、各種イベントの開催や講座の実施等、区民・地域団体・NPO・企業・学校等の地道な連携と協働により、普及啓発事業の環境への理解や関心を深めるのに大きな成果を上げていますが、登録団体数、来館者数の更なる増加が望まれるためです。</p> <p>サービスの負担と担い手 環境基本条例に基づき、区の主導により、区民・事業者等との協働で環境の保全に関する知識の普及及び意識の啓発を図っていきます。</p> <p>適切な目標設定 環境の保全に関する普及啓発の成果として、区民の環境配慮行動や事業者・団体等の活動状況を捉えていくことは適切です。</p> <p>効果的・効率的な視点 環境学習情報センターを核とした普及啓発事業により、区民・事業者等からの反応も多くなり、行動にも変化が出てきていることから、施策は効果的・効率的に行われています。</p> <p>目的の達成度 「エコリーダー養成講座」の受講者数が474名となり、目標を大きく上回りました。「エコライフまつり」の開催や、「環境学習・出前講座」の実施、環境関連イベントへの参加、毎月発行の「環境ニュース」やホームページを通じた情報提供など、利用可能なツールを活用して環境保全思想の普及啓発活動を実施しています。</p>	B

今後の取組み・改革の方針

環境学習情報センターを核とした、区民・地域団体・NPO・企業・学校等の連携、協働を推進します。また、エコライフ推進員やエコリーダー養成講座修了生を活用し、環境保全思想の定着を担う仕組みづくりをしていきます。ホームページを更に充実させるなど、手段の改善を図り、今後もより効果的な普及啓発活動の展開を図るとともに、参加者の増加が図れるような魅力ある事業内容を工夫していきます。
 この施策は、新宿区総合計画の基本施策「 - 1 - 環境問題への意識啓発」に引き継いで取り組んでいきます。

施策を構成する計画事業

計画事業	総合評価	頁	総合評価	頁
環境学習情報センターを核とした普及・啓発	B	278		